

船舶事故等調査報告書

平成24年10月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第24号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年5月29日 16時30分ごろ	
発生場所	<p>沖縄県那覇港浦添ふ頭北東方沖</p> <p>沖縄県浦添市所在の那覇港浦添北内防波堤灯台から真方位048° 1.7海里付近</p> <p>(概位 北緯26° 16.4′ 東経127° 41.8′)</p>	
事故等調査の経過	<p>平成24年5月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。</p> <p>原因関係者から意見聴取を行った。</p>	
<p>事実情報</p> <p>船種船名、総トン数</p> <p>船舶番号、船舶所有者等</p>	<p>作業船 ゆうし、4.3トン</p> <p>296-3062 沖縄、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	シューピース後端塗装剝離	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、調査員3人を乗せ、水質調査のための資料採取を行いながら、浦添ふ頭北東方の浅礁域を船首約0.8m、船尾約1.5mの喫水及び約2ノットの速力で北東進中、風により圧流され、平成24年5月29日16時30分ごろ付近のさんご礁に乗り揚げた。</p> <p>船長は、所属会社に救助を求め、来援した僚船によって引き出され、自力で浦添ふ頭の船溜まりへ帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東、風力 5</p> <p>海象：波高 約0.2m、潮汐 下げ潮の中央期</p>	
その他の事項	<p>船長は、調査地点が浅礁域内に設定されていたため、水深が浅いことを知りながら航行した。</p> <p>本船には音響測深機は装備されておらず、船長は目視のみで航行していた。</p> <p>乗船者は、全員が救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	<p>本船は、浦添ふ頭北東方の浅礁域を北東進中、船長が目視のみで水深を確認して航行していたことから、風により圧流されてさんご礁に接近し、さんご礁に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、浦添ふ頭北東方の浅礁域を北東進中、船長が目視のみで水深を確認して航行していたため、風により圧流されてさんご礁に接近し、さんご礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	